年頭にあたって

小平町長　関　次雄

新年あけましておめでとうございます。

平成29年の輝かしい新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを心からお喜び申しあげますとともに、日頃より町行政の推進にあたり、深いご理解とご協力を頂いておりますことに、敬意と感謝を申しあげます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は昭和41年に町制施行し小平町となってから50周年という半世紀に一度の節目の年でありました。11月には、記念式典並びに記念行事を行い、町民の皆様と一緒になり、慶びを分かち合い、先人たちが築いた歴史・文化・自然といった素晴らしい遺産をさらに飛躍発展させ、ふるさと小平町を後世に引き継いでいくため、新たな気持ちで小平町が一世紀に向かって邁進する決意を示すことの出来た大変意義深い記念の年となったと考えております。

人口減少が進む中にあっても、若い世代は希望を持ちいきいきと暮らし、高齢の方はいくつになっても健康で過ごせる町づくりを目指し、「働きながら住み続けられるまち」「子どもを産み育てたいと思えるまち」「いつまでも安心して住み続けられるまち」「まちの魅力を高め、住み続けたいまち、住みたくなるまち」の実現に向け、各種事業を推し進めてまいります。

まもなく始まります新年度予算編成では、私の町政運営の基本理念であります「目配り・気配り・思いやり」精神を基本に「町づくりの主役は町民であり、町民の目線に立って自ら出向き、自らが見て聞く、現場主義」を更に徹底し、例え小さなことにでも、丁寧に取り組んでまいります。

平成25年度より着手しておりました「ゆったりかん・番屋施設周辺の環境整備」は、昨年、ゆったりかん周辺おびまる広場の緑地公園が完成し、本年より供用開始となります。「海と太陽と緑」がおりなす絶好のロケーションを楽しみながら、ジョギングやウォーキング、あるいは、ご家族、ご友人との憩いの場として、また、冬には幼児から高齢の方々まで身近なレクリエーションを楽しめる場所として、町民の皆様は勿論、観光で訪れる皆さんにも大いにご利用いただき賑わいの場となる事を期待しております。

また、本年は長年の懸案でありました鬼鹿小学校の改築事業に着手するとともに、定住促進対策として引き続き、新築・住環境整備への助成、更には、後世に引き継ぐ財産としての森づくり事業、既設橋梁の長寿命化事業、道路照明のＬＥＤ化促進事業等、全ての町民の皆様が安心して暮らし続けられるよう、生活環境の向上を図る施策を推進してまいります。

本年が昨年同様に、平穏で明るく希望に満ちた年であるとともに、町民皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。